

7月7 - 11 日週のユーロ円レビュー

July 14, 2008

ユーロ堅調、史上最高値を更新

High : 169.63 円 Low : 167.15 円
Close : 169.63 円 (前週比+1.83 円)

ユーロ堅調。米政府系住宅金融公社への懸念やイラン・イスラエル双方の軍事演習報道など、ドルへの悪材料が並ぶなか、ユーロドルは徐々に上げ幅を拡大させ一時 1.5949 ドルまで上昇した。また、ユーロ円もドル円の下落につれる場面も見られたが、その後はユーロドルの上昇が下支えとなり、一時 169.63 円まで史上最高値を更新した。

7/7 (月) 168.60 円 (前日比 0.31 円)

ユーロ堅調。米住宅金融公社絡みの悪材料を受け米株が軟調に推移したことからドル売り優勢となり、ユーロドルはストップを巻き込みながら一時 1.5754 ドルまで上昇した。ユーロ円も 168.64 円まで上伸した。

7/8 (火) 168.48 円 (前日比 0.12 円)

ユーロ円は方向感に乏しい。ドル円が地政学的リスクの高まりから下落したことにつれ、167.22 円まで値を崩した。ただ、その後は反発し 168 円台を回復した。ユーロドルは一時 1.5740 ドルまで上昇したが、原油価格の下落も重石となり 1.56 ドル前半まで反落した。

7/9 (水) 168.08 円 (前日比 0.40 円)

ユーロ円は軟調。一時 168.90 円まで上昇し 3 日以上の 169 円乗せに迫ったが、米株の大幅下落につれ、168.01 円まで反落した。一方ユーロドルは堅調。一時 1.5750 ドルまで上昇した。その後はユーロ円の下落が重石となったが底堅く、同水準でのみ合いとなった。

7/10 (木) 169.06 円 (前日比 +0.98 円)

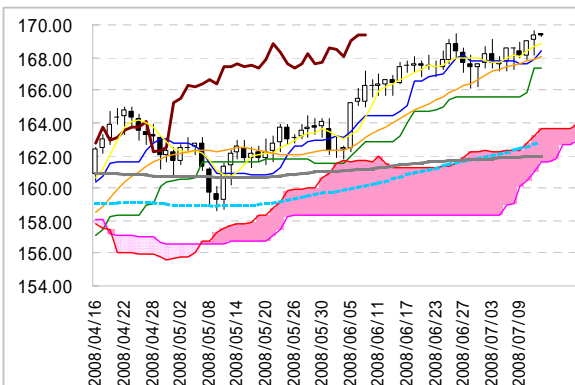
ユーロ堅調。ユーロドルはバーナンキ FRB 議長が利上げについて示唆せずドル売りが活発化し、一時 1.5803 ドルまで上昇。ユーロ円もつれ、一時 169.06 円まで上伸した。

7/11 (金) 169.63 円 (前日比 +0.57 円)

ユーロ堅調。イスラエル絡みの報道からドル円が下落し、ユーロ円も 168.15 円までつれ安となった。その後は軟調に推移していた米株が反発し、ショートカバー優勢となり 169.63 円まで過去最高値を更新した。ユーロドルも一時 1.5949 ドルまで上昇した。

月日	High	Low
7/7 (月)	168.64 円	167.15 円
7/8 (火)	168.55 円	167.22 円
7/9 (水)	168.90 円	168.01 円
7/10 (木)	169.06 円	167.83 円
7/11 (金)	169.63 円	168.15 円

ユーロ円の推移



テクニカル短期・中期ポイント

- 171.88 (3/20 - 4/23 上昇幅 13.28 円、5月9日押し目 158.60 円による N 計算値)
- 171.36 (4/23 - 5/9 下落幅の倍返し)
- 170.00 (心理的節目)
- ==== 先週末の NY クローズ 169.63 円 ====
- 168.39 (日足一目均衡表・転換線)
- 168.04 (21 日移動平均線)
- 167.31 (日足一目均衡表・基準線)
- 166.08 (6月30日安値)
- 161.74 (6月4日安値)

欧州の重要指標結果

- 7/7 (月) 【結果】 (前回)
- 独 5 月鉱工業生産 [2.4%] (0.8%)
- 7/10 (木) 【結果】 (前回)
- トリシェ ECB 総裁「インフレは予想以上に 2% を超えて推移」

アウトルック ダイジェスト版

レンジ : 168.00 - 170.50 円

ユーロ圏では独 ZEW 指数が注目。最近ドイツを筆頭にユーロ圏各国の経済指標悪化が見られるが、市場の反応は限定的だった。ただ注目度も高い ZEW で景気減速が顕著になった場合、ユーロ売り優勢になる可能性もある。ただ、米政府住宅金融の悪化やイラン・イスラエル絡みの報道による地政学的リスクの高まりなど、ドルを積極的に買う材料も無い。ユーロドルの動き次第では、ユーロ円も底堅い動きとなることも想定されよう。